

参考：参加者の声
平成 27 年度アンケートより抜粋

- ・ 先進的な取り組みの導入経緯、背景、内容、結果を紹介いただき参考になった (20代 A 班)
- ・ 学生目線に立ってないことに気付かされた (30代 A 班)
- ・ グループ討議がうまく進むか不安だったが、様々な意見が出て、徐々に意見がまとまり順調に進めることができた (20代 A 班)
- ・ 他大学職員との意見交換は普段の業務ではないので良い刺激になった (20代 A 班)
- ・ 討議で得たコミュニケーション力を活かして業務しやすい環境づくりや自ら動くことにチャレンジしたい (20代 A 班)
- ・ システムが良いので導入したわけではなく、背景に教育の質保証などの意図や経緯があることが理解できた (20代 B 班)
- ・ 他大学、他部署のグループで自分では気付かない点について情報交換できた (20代 B 班)
- ・ 出身、年代が異なるグループが一つの目標に向かって団結して成果を残せて非常に達成感が得られた (40代 B 班)
- ・ 様々な立場の職員が集まることで、同じ ICT を活用した提案でも多様な意見が出て興味深かった (20代 B 班)
- ・ 学内で起きている問題に ICT を用いた解決方法を学ぶことができ、改めて ICT の有用性を感じた (20代 C 班)
- ・ 他大学の事例をもとに新たなサービスを考える姿勢が身に付き、グループで働くことの重要性に気が付いた (20代 C 班)
- ・ 事前研修の資料が用意されていたので講習会への入りがスムーズだった (20代 C 班)
- ・ 教職員それぞれの職務内容を確認し、複合的な視点が持てる努力をしたい (20代 C 班)
- ・ ICT 導入事例紹介から問題点に対して積極的に取り組んだ様子が良くわかり、その姿勢を大切にしたいと感じた (20代 D 班)
- ・ ICT を活用した新しい学生支援の在り方について他大学の課題認識や方向性が聞けて興味深かった (20代 D 班)
- ・ 他大学の抱えている悩みが似ていることが分かり、先手を打って動き出し差をつけなくてはならないと働きかけしたい (20代 D 班)
- ・ 学生のために何ができるか問題解決のために高い意識で業務に取り組みたい (30代 D 班)
- ・ 他大学との交流で新たな視点で自大学を見ることができ、ICT への苦手意識もあったが興味がでてきた (20代 D 班)
- ・ 職員に求められることなど日常業務に追われて忘れかけていた初心を思い出す切っ掛けになった (20代 E 班)
- ・ 大学の求められることは似た部分が多かったが、そこからのイノベーションがグループごとに異なり刺激を受けた (20代 E 班)
- ・ PDCA を業務に取り入れ、主にフィードバックを通常業務でも活かしたい (20代 E 班)
- ・ 年代が異なる中での議論は、様々な角度からの考え方を身に付けられた (30代 E 班)
- ・ 大学の役割をこれほど時間をかけて考えたことがなかったが、職員の核のようなものを感じることができた (30代 F 班)
- ・ 昨年同様は退歩の始まりの言葉から、日々改善点を見つけ提案したい (20代 F 班)
- ・ 学生の幸せについて考えることの大切さを学ぶことができた (30代 F 班)
- ・ 疑問に思ったことを周囲と共有して解決策を探り、日常生活で大学に関する情報を積極的に収集したい (20代 F 班)